



社協だより

ファミリー・サポート・センター交流会の様子
詳しくは、P6をご覧ください。

ほほえみ

No.63

2021年5月1日

- | | |
|------|--------------------------|
| P2・3 | ■ 令和3年度予算・事業計画 |
| P4 | ■ 令和3年度ふくしの講座シリーズ第1弾 |
| P5 | ■ ファミリー・サポート・センターからのお知らせ |
| P6 | ■ 事業報告・いちごの寄付 |
| P7 | ■ 介護予防教室活動紹介 |
| P8 | ■ 香典返し・各種相談事業 |

発行／社会福祉法人 和水町社会福祉協議会
TEL 0968-34-2366・0968-34-2390



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

事業計画

【基本方針】

社会福祉協議会は、社会福祉法において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と明記されています。地域住民を会員とする社会福祉法人として、地域住民が直面している地域福祉の課題や問題の解決に取り組み、「赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らし続けられるまち」の実現を目指します。

第2期地域福祉活動計画を基本とし、職員自ら地域に向向いて（アウトリーチ）地域住民の意見・要望等を取り入れ、その中で地域または個人が抱える課題や問題を発見し、その解決に向けて地域住民、ボランティア、民生委員・児童委員、行政、関係団体等の多業種協働による支援を推進します。

在宅福祉の分野では、介護保険事業・障がい者自立支援事業の効果的なサービスが提供できるように取り組んでいきます。今後も、社会福祉協議会の意義・役割について十分に検討し、新たな事業創出も視野にふまえて、既存事業の見直しや課題の整理を行い、地域福祉の更なる充実と向上に向けて、社協職員としての資質向上に努めると共に、職務への自覚と責任を持って取り組んでいきます。

1. 社協運営に関すること

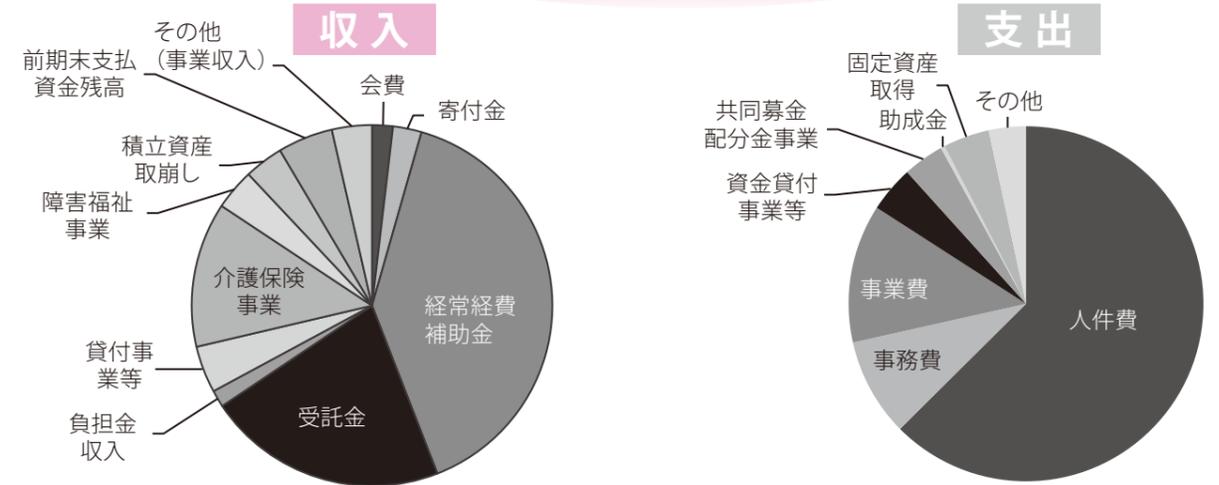
・理事会、評議員会の開催 ・各種監査及び会計指導 ・役員職員等の資質向上 ・指定管理施設の管理運営

2. 社協事業に関すること

- (1) 住民への情報提供のために
 - ・社協広報誌の発行 ・ホームページの運営
- (2) 住民が必要とするサービスを企画・開発するために
 - ・ひとり暮らし、高齢者世帯の実態把握 ・福祉座談会の開催 ・座談会後の継続支援 ・困りごとやニーズ調査
- (3) 住民が在宅で安心して暮らす事ができるために
 - ・居宅介護支援事業 ・訪問介護事業 ・訪問型予防事業 ・居宅介護、重度訪問介護事業 ・通所型サービスB事業
 - ・ふれあいいきいきサロン事業 ・ふれあいいきいきサロン助成金事業 ・男性料理教室事業 ・男性の集いの場づくり
 - ・介護予防教室運営事業 ・食の自立支援事業 ・地域福祉権利擁護事業 ・まごころ安心預かりサービス事業
 - ・福祉講演会 ・福祉・介護の相談会 ・福祉機器貸出事業
- (4) 住民の暮らしの相談・苦情受付のため
 - ・法律相談事業 ・補聴器相談事業 ・生活困窮者自立支援事業 ・福祉金庫貸付 ・緊急時における食糧等の提供
 - ・生活福祉資金の受付、相談 ・高額療養費の受付、相談 ・苦情相談の受入体制 ・メールやアンケートによる意見収集
- (5) 住民や団体の活動推進のため
 - ・物品貸出事業 ・社協公用車貸出 ・関係団体への協力、支援 ・民生委員児童委員協議会 ・老人クラブ連合会
 - ・荒玉郡市社会福祉協議会連合会
- (6) 子どもたちの健全育成及び次世代育成のために
 - ・児童デイサービス事業 ・福祉体験学習 ・ボランティア福祉協力校助成金事業 ・実習生受入体制の整備
- (7) 事業費募集のために
 - ・社協会費募集 ・寄付金（一般・香典返し）の受付 ・日本赤十字社会費募集 ・赤い羽根共同募金運動
- (8) ボランティア活動の推進・啓発のために
 - ・ボランティア連絡協議会への支援 ・ボランティア活動への支援 ・サロン、ボランティア養成講習会
 - ・中学生ワークキャンプ事業 ・ボランティアに関する相談受付や活動紹介などのマッチング
- (9) 住民がお互いに支え合うふれあいのまちづくりのために
 - ・ひとり暮らしふれあい招待会 ・出前講座などの職員派遣 ・世代間交流事業 ・生活支援体制整備事業
 - ・関係団体との協働体制の構築 ・生活支援サービス「なごみのわ」 ・見守りネットワーク推進
 - ・ファミリーサポートセンター事業 ・各行政区公民館への備品の整備
- (10) 防犯・防災のために
 - ・町防災訓練での連携、協力 ・地域での防災訓練への支援 ・災害時応援協定 ・災害ボランティアセンター設置運営訓練

令和3年度 和水町社会福祉協議会

一般会計予算



(単位:千円)

収入	勘定科目	金額	摘要
	会費	1,600	社協会費（一般・賛助・特別会員）
	寄付金	2,200	一般寄付金、香典返しなど
	経常経費補助金	34,006	町補助金、共同募金配分金
	受託金	18,423	福祉センター指定管理費、県社協受託金・町受託事業
	負担金収入	1,300	生活困窮者等自立相談支援事業負担金
	貸付事業等	3,600	高額療養費貸付資金、福祉金庫貸付
	介護保険事業	11,132	介護保険事業
	障害福祉事業	3,145	障がい者自立支援事業
	積立資産取崩し	3,000	車両購入積立金
前期末支払資金残高	4,250		
その他（事業収入）	3,060	事業にかかる参加費、預金利息など	
合計	85,716		

(単位:千円)

支出	勘定科目	金額	摘要
	人件費	53,622	職員人件費
	事務費	7,665	法人運営に係る費用（会議費、通信運搬費、電気代、事務消耗品、賃借料等）
	事業費	10,811	地域福祉事業に係る費用（配食サービス、心配ごと相談、法律相談、男性料理教室等）
	資金貸付事業等	3,600	高額療養費貸付資金、福祉金庫貸付
	共同募金配分金事業	3,190	老人福祉活動費（ひとり暮らしふれあい招待会、老人会、ボランティア団体育成等） 児童青少年福祉活動費（ワークキャンプ、児童デイ、体験学習等） ボランティア活動育成費（団体育成事業、町ボラ連への助成、介護予防教室支援等） 総合福祉の事業（広報誌、福祉まつり、小地域ネットワーク活動費）
	助成金	335	各種福祉団体等への助成
	固定資産取得	3,600	車両購入費
	その他	2,893	退職共済預け金、予備費
	合計	85,716	

たまなファミリーサポートセンターサポーター 子育て支援サポーター養成講座 受講者募集



玉名市・玉東町・南関町・和水町の1市3町では、玉名圏域定住自立圏強制ビジョンの一環として、ファミリーサポートセンターの連携及び人材育成があり、本町在住の方でも、他市町の講座を受けることが出来ます。

サポーター養成講座とは、子育て世帯を支援するために、保育園や学童への送迎や子どもを一時的に預かるための講座で、特別な資格などは必要ありませんが、全項目24時間の受講が必要です。心身共に健康で子育てに理解と熱意がある方お待ちしています。

なお、参加を希望される方は、準備の都合上、**6月15日(火)まで**に、和水町社会福祉協議会(TEL 0968-34-2366)にお申し込みください。

◆対象：子育て支援に関心があり講座をすべて受講できる方

◆会場：玉名市福祉センター

6月22日(火)	
10:15~10:30	開講式 オリエンテーション
10:30~11:30	玉名市の状況/ファミリーサポートとは
13:00~15:00	保育の心

6月24日(木)	
10:00~12:00	幼児安全法
13:00~15:00	子どもの身体の発育と病気

6月29日(火)	
10:00~12:00	心の発達とその問題①
13:00~15:00	心の発達とその問題②

7月1日(木)	
9:00~12:00	子どもの栄養と食生活
13:00~15:00	小児看護の基礎知識

7月6日(火)	
10:00~12:00	小児看護の基礎知識(歯の衛生指導)
13:00~15:00	子どもの世話と遊び

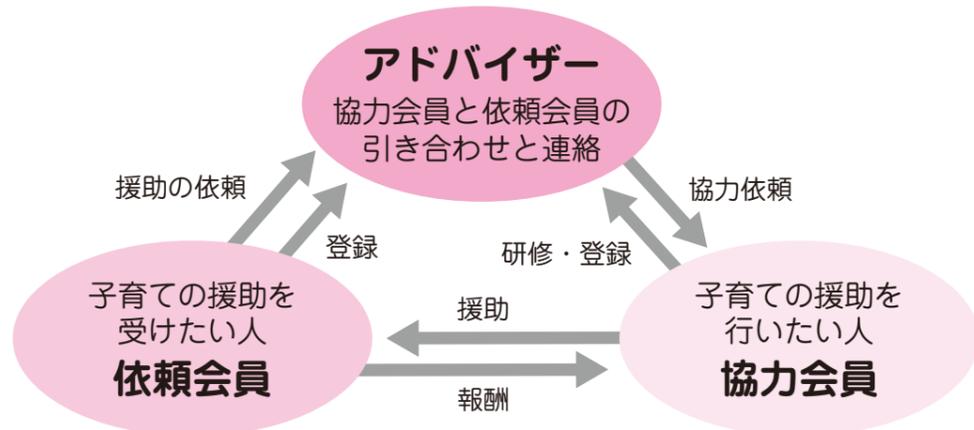
7月8日(木)	
10:00~12:00	コミュニケーションの取り方
13:00~15:00	活動を円滑に進めるために/閉講式

■ファミリー・サポート・センターとは？

ファミリー・サポート・センター(通称;ファミサポ)では、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(協力会員)の相互援助活動です。例えば、保護者の方の急用や病気などで困った時に、会員同士お互いに助け合いながら子育てを行い、円滑な相互援助活動のお手伝いを「和水町ファミリー・サポート・センター」が行います。

和水町では、協力会員・依頼会員・両方会員の登録を随時行っています。

■和水町ファミリー・サポート・センターのしくみ



令和3年度 ふくしの講座シリーズ 第1弾

自分で“実践”できる
レクが楽しく学べます!

心をも元気にする

レクリエーション講座

5/26 水

午前10時~12時

講師

UEKI・レクリエーション協会
立山和代氏

感染症予防に、ご協力お願いします

マスク着用 検温 手指消毒



場所

和水町福祉センター

和水町平野1276番地3(和水町社会福祉協議会)

対象

レクリエーションに興味のある方
スキルアップしたい方

持ち物

動きやすい服装、飲み物

定員

20名程度

申込
締切

5月21日(金)

申込先
(お問合せ先)

和水町社会福祉協議会 ☎0968-34-2366 月~土 8:30~17:30

※新型コロナウイルスの感染症拡大等の影響により、講座を中止・延期する場合があります。予めご了承ください。



介護予防教室活動紹介～お茶の間筋トレ～



“自分の出来る事を出来るところまで無理せず頑張る”をモットーに、町内59地区(社会福祉協議会実施地区33地区)で介護予防教室(お茶の間筋トレ)が実施されています。

週1回の開催を基本とし、約90分程度の時間の中で、血圧測定や筋トレ、ダンス、レクリエーション、マッサーなど参加者とボランティアスタッフ、職員が一緒になって活動しています。(自主活動もあります)

各地区の開催日は下の表のとおりです。見学は自由に出来ますので、皆さんお待ちしております!

なお、感染拡大防止の観点から、教室に参加される場合は、当日の検温及びマスク着用の上ご参加ください。

<各教室の実施日>

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
AM9:30 ～ 11:30	☆焼米 (焼米公民館)	☆下津原西 (下津原西公民館)	☆立石 (立石公民館)	☆下津田 第1,3,5週 (下津田公民館)	☆米渡尾 (米渡尾公民館)	☆下津原東 (下津原東公民館)
	☆前原 (前原公民館)	☆鷺原 (鷺原公民館)	☆長小田 (長小田公民館)		☆志口永 (志口永公民館)	☆岩尻 (岩尻公民館)
	☆江栗 (江栗公民館)	☆中岩 (中岩公民館)	☆上岩 (上岩公民館)		☆前野 (前野公民館)	☆内田 (内田公民館)
	☆久米野 (久米野公民館)	☆板橋東 (台公民館)	☆下大田黒 (下大田黒公民館)		☆緑 (三加和公民館)	☆野田 (野田公民館)
	☆西吉地 (村公民館)	☆中林 (中林公民館)	☆皆行原 (皆行原公民館)		☆下岩 (下岩公民館)	☆上十町 (猿懸公民館)
	☆山十町 (橋上公民館)				☆中吉地 (山森公民館)	☆中十町 (中十町公民館)
	☆中十町 (集会センター)					
PM13:30 ～ 15:30	☆大江田 (大江田公民館)	☆本村 (本村公民館)	☆下久井原 (下久井原公民館)	☆萩原 (萩原公民館)	☆日平 (日平公民館)	☆白石 (白石公民館)
	☆用木 (用木公民館)	☆古閑 (古閑公民館)	☆藤田 (藤田公民館)		☆牧野 (牧野公民館)	☆上久井原 (上久井原公民館)
	☆平野 (平野公民館)	☆中路 (中路公民館)	☆中原 (中原公民館)		☆江光寺 (江光寺公民館)	☆馬場 (馬場公民館)
	☆西口 (平々公民館)	☆上和仁 (中組公民館)	☆春富 (春富集会センター)		☆ロマン館 (上津田公民館)	☆上津田 (上津田公民館)
	☆上大田黒 (上大田黒公民館)	☆和仁東 (和仁東公民館)	☆寺山 (寺山公民館)		☆中和仁 (鬼丸公民館)	☆東吉地 (切畑公民館)
	☆板橋西 (小原公民館)		☆北原 (北原公民館)		☆和仁西 (和仁西公民館)	☆男性体操 (福祉センター)

☆印は、社協が町から委託を受けて実施している地区になります。

スタッフ紹介 #一緒に楽しい時間を過ごしましょう



深浦 愛紀代

現在、和水町では500名以上の方が体操を楽しんでいます。「コロナ禍で様々な行事が中止...」「広範囲での活動には抵抗あるな～」という方!!

上記の公民館で体操を行っています。体を動かすことが得意な方、苦手な方、それぞれのペースで楽しむことが出来ます。

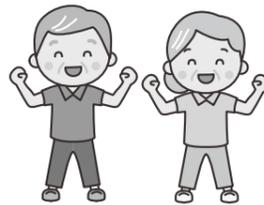
週に一回大きな声を出して、笑って心も体もリフレッシュしましょう。



柿内 秀敬

参加者の皆さんと声をかけあい、楽しく活動をしています。「まだ若い」と思っている方も、一度公民館に足を運んで一緒に体験してみませんか。

全身運動でしっかり身体がほぐれます。公民館でお待ちしております。



生活支援サービス「なごみのわ」

協力会員フォローアップ研修

令和2年9月より運用を開始した生活支援サービス「なごみのわ」は、昨年度12件の利用がありました。(買物代行7件、安否確認・話し相手5件)

3月26日(金)、現在31名の協力会員を対象に、活動報告・会員間の交流及び、他市町の取り組みを学ぶためフォローアップ研修を開催しました。

「総合事業及び町の現状について」町健康福祉課 包括支援係長前田洋子氏より、また他市町の取り組みとして、山鹿市社会福祉協議会 地域福祉係 船津映里花氏より事例発表を交え、ご講話いただきました。利用者の声の紹介では、会員さん同士は、サービスの枠を超えた信頼関係が築かれており、利用者の生活を支える存在になっておられ、改めて本サービスが担う役割の重要性を再認識しました。



令和2年度ファミリー・サポート・センター交流会

～子どもがぐんぐん伸びる「勇気づけの子育て」～

3月3日(水)に、会員間の交流と事業の活動周知を目的として、「ファミサポ交流会」を開催しました。今回は、子どもがぐんぐん伸びる「勇気づけの子育て」をテーマに、講師に NPO 法人すまいるのたね山鹿「家庭的保育室ひよっこ」代表の平川明子氏をお招きし、ご講演いただきました。

講演の中では、人間関係が楽になる5つのコツや、魔法の言葉についてのご紹介、またペアになった相手の「ヨイ出し」(良いところ探し)を行いました。

参加者の方からは、『家族へ「あうただ」をたくさん伝えて行きたいと思いました。』『普段褒められることが無いので、今日言葉にして褒めてもらってとっても嬉しかった!参加して良かったです。』と嬉しいお言葉をいただきました。



魔法の言葉

- ㊦ ありがとう
- ㊦ うれしい
- ㊦ たすかる
- ㊦ だいすき

会員数【R3.4.1現在】

依頼会員	55名
協力会員	4名
両方会員	5名
計	64名

いちごの寄付いただきました

4月21日、JA たまな北部集荷センターいちご部会(鶴田秀忠部会長)より、いちごの寄付をいただきました。今年もとれたてのいちごを町内3施設(和楽荘、清風苑、きくすい荘)に120パック、また三加和地区の80歳以上のひとり暮らしの方(131名)へ届けられました。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりましたが、今年は新鮮ないちごが届けられ、皆さん大変喜ばれていました。

なお、この度のいちご配布につきましては、担当民生委員児童委員の方々にご協力いただきました。

寄付御礼

次の方々より香典返しに代えて多額の寄付をいただきました。ご報告と共に、ご逝去された方々のご冥福をお祈り申し上げます。

R3年1月4日～R3年4月19日 受付分

寄付者	物故者	行政区(住所)
本田 進 様	亡父) 毅	白石
森田 吏津子 様	亡兄) 省三	藤田
堤 千 朗 様	亡母) 春美	皆行原
津 口 功 様	亡父) 知秀	大屋
坂 本 温 子 様	亡母) ナカ子	下津原菰田
檀 ヤエ子 様	亡夫) 儀市	中和仁
徳 永 壽 様	亡父) 春海	中吉地
荒 木 一 豊 様	亡妻) 恵實子	蜻浦
江 上 誠 一 様	亡母) シオル	みやま市
松葉 弥寿代 様	亡夫) 英徳	本村
本 田 亮 仁 様	亡父) 亮平	上平野
末 継 君 代 様	亡義母) キク子	東吉地
田 中 明 美 様	亡母) 山口ヨル子	日平
有働 シズヨ 様	亡夫) 清治	下津原西
田代 三枝子 様	亡母) ミヨ子	玉名市
西 村 伸 一 様	亡母) 郁子	馬場
深 草 一 義 様	亡叔母) トキ子	下久井原
坂 本 敬 史 様	亡妻) しのぶ	下津原菰田
横 手 謙 介 様	亡妻) 珪子	中岩
山 崎 晃 広 様	亡母) フサ子	久留米市
坂 本 博 則 様	亡母) ヨシエ	下津原西
青 木 紀 元 様	亡妻) サチヨ	下津田
多 賀 祐 一 様	亡母) ケイ子	用木
渡 邊 重 徳 様	亡母) ミツエ	上十町
佐 藤 孝 徳 様	亡妻) 眞美	上和仁
高 木 誠 也 様	亡妻) 綾子	藤田
齊 木 麗 子 様	亡子) 清子	中原
川 部 アサ子 様	亡夫) 純也	馬場
庄 山 マツヨ 様	亡夫) 秀信	中和仁
西 川 國 弘 様	亡母) 愛子	竈門
柿 原 健 様	亡父) 至誠	上和仁
池 上 イツミ 様	亡夫) 正志	中十町
平 野 博 愛 様	亡母) ハヤ子	熊本市
田 川 より子 様	亡義母) 茂子	日平
岩 田 忠 則 様	亡母) 佳苗	上大田黒
内 野 浩 美 様	亡兄) 忠之	中和仁

善意寄付

下記の方々より、善意の寄付をいただき、ありがとうございました。寄付については、社協事業に活用させていただきます。

◇金一封◇ ◆匿名 3件

補聴器相談・法律相談

	5月	6月	7月
法律相談	5月28日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》	6月25日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》	7月23日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》
補聴器相談	5月14日(金) 9:00～12:00 福祉センター (有)玉名補聴器 センター対応		

社会福祉士相談援助実習終了



九州看護福祉大学
3年
吉岡 雅也

実習を通して、地域や通所事業等に参加させていただき、コロナ禍の中でも沢山の機会をいただき感謝しています。子どもから高齢者・生活困窮者等幅広く支援されており、同行・支援を通して多くの事を学ぶことが出来ました。

また、職員の皆様から毎日声を掛けていただき、温かい雰囲気の中で楽しく実習を行うことが出来ました。今後は、今回の学んだことを生かし、福祉について学びを深めていきます。



九州看護福祉大学
3年
富田 彩乃

今回の実習で、社会福祉協議会の様々な事業や地域住民の方々に関わる立場に参加させていただきました。その中で、直接困っている方を支援するだけでなく、地域住民を中心とした地域づくりを支える視点についても学ぶことが出来ました。

お忙しい中、丁寧にご指導いただきました職員の皆様、地域住民の皆様、本当にありがとうございました。

編集後記

新年度を迎え、私自身の取り巻く環境も少し変化し、新たな役割を担うことになりました。自分に出来るか不安な部分もありますが、何事にも挑戦をしてみようと思っています。やってみないことには何も始まらないと思っていますので、沢山の意見もあるかと思いますが、自分自身を高めるためにも一年間努めてみたいと思います。(石原)